

施策目標 2 災害に強い水道



取組の方向性

- ・地震等の災害時においてもユーザー企業への給水を継続するため、老朽化が進んでいる東寺尾送水幹線（相模湖系統）を始めとする工業用水道施設の更新・耐震化を進めます。

指標

指標名	現状値	目標値
東寺尾送水幹線の更新率	7% (R5年度末見込み)	50% (R9年度末)

施策及び主要事業

施策1：工業用水道施設の更新・耐震化

主要事業1 東寺尾送水幹線の更新・耐震化



発進立坑



シールドマシン

シールド工法による更新・耐震化

施策1:工業用水道施設の更新・耐震化

現状と課題

工業用水道施設は、昭和32(1957)年から昭和45(1970)年にかけて集中的に整備を行ってきたことから、施設の老朽化が進んでいます。また、全長約90kmある送配水管の耐震管率は令和4(2022)年度末で約49%となっています。工業用水道は浄水施設である沈でん池から給水区域まで単一管路で水を供給しており、地震等の災害時においても給水を継続するために、優先順位をつけ計画的に更新・耐震化を進めています。

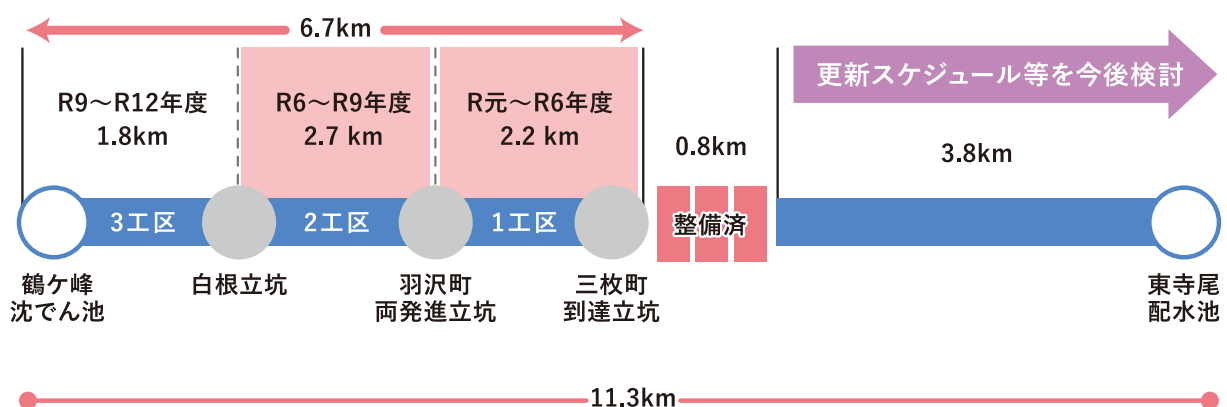
現在は、鶴見区や神奈川区の京浜臨海部への管路である東寺尾送水幹線(相模湖系統)について、布設から60年以上年経過し老朽化が進んでいることから、計画的に更新工事を進めていく必要があります。

主要事業1 東寺尾送水幹線の更新・耐震化

事業費 60億円

- 相模湖系統の東寺尾送水幹線(工業用水鶴ヶ峰沈でん池～東寺尾配水池:総延長11.3km)について、計画的に整備を進めており、令和6(2024)年度から令和9(2027)年度は4.9kmを更新・耐震化します。

想定事業量	現状値	目標値
東寺尾送水幹線の更新延長	1工区施工中 (R2年度～R5年度末見込み) (累計 0.8km)	1工区・2工区施工完了 4.9km (R6年度～R9年度) (累計 5.7km)



東寺尾送水幹線更新工事のスケジュール